

令和6年度 浜松市立横山小学校 学校評価報告書

1 自己評価

① 【知】「自分から 学び合う子」主体的に学びに向かう力の育成

<成果>

- 個々の実態に応じた支援を行うことで前向きに自信をもって学習する様子が見られるようになってきた。
- タブレット PC を活用した朝学習などを行うことで、個々の進度に応じた基礎・基本を補充し、家庭学習に広げることができた。
- 毎時間、身に付けたい力を子供と共有して授業を進めることで、見通しをもって学習を進めることができた。

<課題と方策>

- 子供対教師の授業形態が多く、子供同士で話し合い、学び合う形態に進んでいかない。
→学習集団の人数に合わせて、より効果的な話し合い・学び合いができるような手立てを工夫する。
- 家庭学習に進んで取り組めない子、登校してから家庭学習を行っている子がいる。
→「自分に必要なものを、自分で決めて考え、自分の生活に合わせて」進めることができるよう、個々にあった家庭学習を教師と一緒に考え、学習習慣を身に付けていきたい。

② 【徳】「みんな仲よく 認め合う子」自他のよさに気付くことができる力の育成

<成果>

- 委員会活動での創意工夫を生かしたイベントの開催や、実行委員会を作って活動することで、「自分から」進んで活動する場面が多くみられるようになった。
- 決められた場での挨拶が進んでできる。
- 地域を知り、地域に学ぶ活動を多く設定することで、ふるさとを大切にすることが全児童がもっている。

<課題と方策>

- 正しく温かい言葉遣いができていない場面もある。
→あいさつプラス気付いたことを言葉にすることを勧めることで、お互いに助け合い、補い合える子にしたい。
- 来年度は全校とクラスが同じになる。
→メンバーや行事の内容を変えたり工夫したりすることで新鮮な場面を作る。また、子供たちの意見を生かした行事や活動の運営をしていく。

③ 【体】「力いっぱい 高め合う子」 目標に向かってねばり強く取り組む力の育成

<成果>

- 途中で弱音を吐かず、目標達成に向けて、運動に進んで取り組む子が増えた。
- 外部講師を招き、一緒に活動することで、目標に向かう意欲が高まった。
- 自分で伸ばしたいと思う種目については、進んで取り組むことができた。
- 自分の健康課題を意識する子が増え、蓄積したデータから、自分の健康への関心を高め、傾向を知って自身の健康維持に生かそうとするようになってきた。

<課題と方策>

- 粘り強く活動に取り組むことについて、児童と大人で評価の違いが大きかった。意欲を継続させるための働きかけが必要である。
→記録の伸びや取り組みへの意欲を実感できるような学習カードの工夫をする。
→少人数だからこそ運動時間を多く確保できることを生かし、体育の授業の内容を工夫する。
- 自分の健康課題の改善までには至っていない。
→元気チェックなどでの良い表れが、良好な健康状態につながっていることを実感させ、良い生活習慣作りを促したり、子供たちの実態に応じて、タイムリーな課題について、「ハッピー健康の日」などの保健指導を即時行ったりする。

④ 【総括】

<成果>

- 1年間を総じて、子供たちは、目標に向かって様々な活動に取り組み、目標に向かって努力している様子が見られた。
- いじめ防止基本方針や学校の決まりについて、児童や保護者、学校運営協議会委員に説明し、意見を求めたり、校内で見直したりしながら、いじめ防止の取り組みを進めることができた。保護者と連携して個々に抱えている悩みを把握し、支援することで、どの子も、心と体が健康で、楽しく学校に通うことができた。

<課題と方策>

- 「自分から」「こつこつ」取り組む姿がもっと見られるとよい。
→授業や家庭学習への取り組み、行事に向かう目標、運動面などいろいろな場面で、横山小学校の重点目標(キャリア教育の目標)を意識できるように工夫する。
- 昨年度同様、子供と大人の評価に大きな違いが見られた。
→「たより」「ブログ」「参観会」「懇談会」「さくら連絡網」などで、ねらい達成のための取り組みや子供たちのがんばりについて伝えたり、学校公開を積極的に行ったりして、教育活動の「見える化」をさらに進める。

2 学校関係者評価

2月7日(金)に開催した学校運営協議会において、自己評価結果、考察及び改善方法について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・ アンケートによると、それぞれに成果が出ているように感じられる。それに対する課題や方策もしっかり検討されており、これに沿って子供たちへの指導をお願いしたい。
- ・ アンケート6番の「家庭や学校で、ふるさとを大切にしている」に対し、子供たちの回答が 100%となっている。そう思える子供たちは、すばらしいと思う。
- ・ 横山小学校において、子供たちそれぞれが自分の良さを見つめながら、いろいろなことに取り組んでいる様子が、この学校評価から伝わってきた。
- ・ アンケートの評価からは、いくつかそれほど気にしなくてもよい項目があった。学校全体で問題視するほどのマイナス面ではないと思った。また、挨拶など、気付いたことを言葉にすることを勧めているという学校の取り組みは、大変よい方策であると思う。
- ・ 中学になると、不登校になる子が増える。楽しく通える学校を作ってほしい。何事にも負けない強い子、人にやさしい子に育ててほしい。横山小学校は、いじめ防止等について丁寧に取り組んでくれていて、来年度も引き続き指導してほしい。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について進めていく。

- ・ いじめ防止基本方針について、保護者、学校運営協議会に説明し、意見を求めたり、校内で見直したりしながら、いじめ防止の取り組みを全職員で引き続き進める。
- ・ 来年度も、子供たちの意見を大切にしながら、ふるさとを大切に、ふるさとに貢献できる活動を進め、子供たちが少人数でも楽しさや達成感を実感できるようにしていきたい。